

平成29年度こんにやく原料需給実績

(単位:精粉20kg/袋)

項目	需 要 量 (消費量)	供 給 量					期末在荷量
		期初在荷量	国内生産量		輸入量	供給量合計	
			生産量	春切り量			
年度(29.11~30.10)							
計算式	a=f-g	b:前年実績	c:実績	d:前年並	e:実績	f=b+c+d+e	g:注2参照
原料(国内・輸入) 数量実績 (前年度実績)	265,300 282,100	197,700 136,800	286,600 322,000	5,000 5,000	14,000 16,000	503,300 479,800	237,900 197,700
製品 輸入数量実績 (前年度実績)	28,900 29,300	0 0	0 0	0 0	28,900 29,300	28,900 29,300	0 0
合計 (前年度実績)	294,300 311,400	197,700 136,800	286,600 322,000	5,000 5,000	42,900 45,300	532,200 509,100	237,900 197,700
前年比(%)	94.5%	144.5%	89.0%	100.0%	94.7%	104.5%	120.3%

注1)ラウンドしているため加減があわないことがある。

注2)算出方法は以下のとおり。なお、算出方法は各年度に必要な見直しを行い21年度まで遡って再計算しているため過去の発表数値とは連続しない。

①期初在荷量は、平成29年度在荷量調査(28年産)を基に⑥と同様の方法で算出した28年度の期末在荷量197,700袋とした。

②生産量は、平成29年産生産量(64,697トン)から算出(64,697×1,000×歩留(8.858%)÷20kg=286,600)し、286,600袋とした。

③春切り量は、平成27年度需給計画とほぼ同じ5,000袋とした。

④原料輸入量は、1次関税枠(40.9トン)及び2次関税枠(239.1トン)の輸入量(279.9トン)から算出(279.9×1,000÷20kg=13,997袋)し、14,000袋とした。

⑤期末在荷量は、平成30年度在荷量調査(平成29年産)を基に、全こん連調査結果の合計買入量に対する合計期末在荷量の比率(71.9%)を全国製造業者の期末在荷率とみなし、これに全国製造業者の買入量(国内生産量(春切り量を含む)+原料輸入量-全農・全原協の在荷増減量=306,693袋)を乗じて算出した全国製造業者期末在荷量220,445袋に、全農及び全原協の調査結果の期末在荷量合計17,484袋を加えて237,900袋とした。

⑥製品輸入数量は、輸入量(19,076トン)から、精粉換算(製品倍率33倍)で算出(19,327×1,000÷33÷20kg=28,903袋)し、28,900袋とした。

⑦原料需要量は、供給量から期末在荷量を差し引いた265300袋とした。